

# 第23回生協ふれあいの森植樹祭「眺望山」開催報告

1. 日時 2024年5月19日(日)：10:10～12:00
2. 場所 青森市内真部・眺望山自然休養林
3. 参加 37名  
 コープあおもり(11名) 津軽保健生協(6名) 県民生協(8名) 青森保健生協(1名)  
 青森市立北中学校(3名うち中学生2名) 青森森林管理署(5名) 県生協連(3名) ※うち組合員26名
4. 当日プログラム

10:10～10:20	開会式 あいさつ プログラム説明・準備体操、記念撮影・移動	県生協連副会長 今 淳一 青森森林管理署署長 黒木 尚
10:30～11:20	植樹方法の説明、植樹(ヒバ60本)	
11:15～12:00	小川探検(水棲生物調査)、閉会	



あいさつをする今副会長と黒木署長

- ・5月19日(日)、青森市眺望山自然休養林において第23回「生協ふれあいの森」植樹祭を開催しました。生協組合員や地元青森市立北中学校の生徒さん2名と引率の先生、青森森林管理署の皆さん、職員スタッフを合わせて37名が参加し、ヒバの苗木60本を植えました。県生協連では2001年から青森森林管理署と「ふれあいの森協定」を締結し、牛乳パックのリサイクル収益金をもとに植樹活動を実施してきました。24年間で植えることができたヒバの苗木は、4,012本となりました。
- ・参加者は、やや急斜面の山道を登り、およそ2メートル間隔となるよう、森林管理署の若手職員の説明どおりに、唐クワを上手にを使って丁寧に1本1本植え、中学生チームが一番多い7本を植樹しました。
- ・植樹後森林管理署若手職員の指導で、小川の石を裏返して生物をバッドに採取し、写真で環境が良い場所に棲む生物だと確認できました。
- ・閉会式では二人の中学生から「また来年も来たい」「楽しかった」との感想が出されました。



ヒバを植樹する参加者



体長5cmの生物発見  
ヘビトンボの幼虫でした



小川で、夢中で水棲生物を探す参加者

## ～参加者の感想～

- ・今回も丁寧な指導、楽しい解説などのおかげで、気軽に楽しく自然に触れられて良い時間を過ごせた。
- ・また参加したい。毎年植樹した樹の成長を見るのが楽しみ
- ・すごく楽しい。また来たい。もっと生き物を守るために植樹を頑張りたいです。
- ・楽しかった。川には様々な水棲生物がいることを知った。
- ・2年連続で参加、少しながら地球温暖化対策ができて嬉しい。
- ・楽しかった。山と川の両方の自然を満喫できた。
- ・自然が沢山でストレス発散になった。
- ・普段自然と触れ合う機会が少ないのでリフレッシュできた。